2012年9月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
雑誌		
1	著者名	小島　肇
	題名	技術講座　安全性評価試験（11）光毒性試験
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	COSME　TECH　JAPAN，2（9）43-48（2012）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	皮膚感作性試験代替法における最新動向
	学会名，発表年月及び場所	Workshop on the Adverse Outcome Pathways for skin sensitization assay，平成24年9月13日、京都教育会館
国際学会		
1	発表者名	H. Kojima, N. Tanaka*1, M. Oshimura*2, K. Saito*3 F. Saito*4 and N. Imatanaka*4
	所属機関名	*1: Hatano Research Institute (HRI), Food and Drug Safety Center (FDSC), Kanagawa, Japan , *2: Chromosome Engineering Research Center, Tottri Univ., Tottori, Japan, *3: Sumitomo Chemical, Co., Ltd., Osaka, Japan, *4: Chemical Evaluation and Research Institute (CERI), Saitama, Japan
	演題名	Japanese New Project″ ARCH-Tox″ for the future Chemicals Management Policy: Research and Development of in vitro and in vivo Assay for Internationally Leading Hazard Assessment and Test Methods（今後の化学物質管理政策のための日本の新プロジェクト″ ARCH-Tox″：有害性評価および試験法を国際的に導くin vitroおよびin vivo法の研究開発）
	学会名，発表年月及び場所	1st annual meeting　of the American Society for Cellular and Computational Toxicology（ASCCT），平成24年9月21日、ベセズタ、米国
レギュラトリーサイエンス学会		
1	参加者名	小島　肇
	会議名（和訳）	ICATM（代替試験法協力国際会議）調整会議
	開催場所、年月日	リサーチトライアングル、ノースウェスト州、米国、2012年9月4日
	会議内容	日欧米カナダ、韓国のそれぞれの代替法バリデーション機関の代表が昨今の動向を報告し、それらを受け、国際協調および調整に関する討論を行った。
2	参加者名	小島　肇
	会議名（和訳）	SACATM（動物実験代替法科学諮問委員会）会議
	開催場所、年月日	リサーチトライアングル、ノースウェスト州、米国、2012年9月5-6日
	会議内容	米国ICCVAM（動物実験代替法に関する省庁間連絡会議）の科学諮問委員会であるSACATM会議において、米国の代替法に関する動向が報告された。また、新規バリデーション実施に関しての投票がなされた。

3	参加者名	小島　肇
	会議名（和訳）	OECD　Cell Transformation Assay Expert Group Meeting（形質転換試験法専門家会議）
	開催場所、年月日	OECD本部、パリ、フランス、2012年9月24日
	会議内容	発がん物質のスクリーニングとして検討されてきた形質転換試験法　SHEアッセイのテストガイドライン案について、専門家間で調整がなされた。
4	参加者名	小島　肇
	会議名（和訳）	OECD　Comet assay expert group meeting（コメットアッセイ専門家会議）
	開催場所、年月日	OECD本部、パリ、フランス、2012年9月25-27日
	会議内容	日本を中心に実施されたコメットアッセイの国際バリデーション報告書について、専門家間で意見交換がなされた。